

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー	ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	無職
	ブラム=ストーカー				
オプション		年齢		性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	42%
出自	孤独な魂	経験	喪失	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	12
感覚	4	0	0		1	5	(非装備時)	12
精神	2	0	0			2	戦闘移動	17
社会	0	1	0			1	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ		-1		2		
死に手向ける花束“ギフト”	射撃	8r+2		27		範囲(選択)
死に手向ける花束100↑	射撃	12r+4		56		範囲(選択)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ナイフ					
エンブレム:貴種の接吻					

  

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
黄昏の支配者	P	N		
アダム・アンドレ	P	傾倒	N	疎外感
百王大河	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

  

最大財産P:	2	残り財産P:	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	基+5	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定D+LV、lvupしない							
従者の行進	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	D	
効果:	赤色の従者を使用する。1シナリオLV回							
赤色の従者	1	5	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	従者を同エンゲージに作る、1シーン1回。							
血の戦馬	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	作り出した従者を1体選択、消滅、シーンの間、従者専用エフェクトを使用できる							
オリジン:プラント	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	シーンの間、【感覚】使用判定達成値+[LV×2]							
コンセ:ブラム	2	2	メジャー	-	-	シ	-	
効果:	C値-LV(下限7)							
滅びの一矢	2	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果:	判定D+[LV+1]、2点HP消費							
忌まわしき砲弾	5	3	メジャー	-	範囲(選択)	シ	従者	
効果:	範囲(選択)、1シーンLV回							
怒涛の狩人	5	3	メジャー	-	-	シ	従者リミット	
効果:	忌まわしき砲弾と組み合わせて使用、攻撃+[LV×5]							
ブラッドバーン	5	4	メジャー	-	-	シ	80	
効果:	攻+[LV×4]、5点HP消費							
血の彫像	★							
効果:	薔薇出せます							
ブラッドリーディング	★							
効果:	貴方のお心は分かります…(分かるだけ)							
効果:								

「名前などごさいません、学名でも品種名でも、一般名称でも好きにお呼びください」  
「ああ……エリザベス(悪役令嬢モノ恋愛小説の主人公)……あなたはこの黒騎士の殿方と添い遂げるべきでしたのに……  
何故、王子を選んでしまわれたの……まるで、わたくしとあの人のようではありませんか……(そうでもない)」  
「今日も晴天ですのね……」

ファントムローズ  
一人称:わたくし  
二人称:貴方  
三人称:あの人  
【概要】  
薔薇を模した生命体。レネゲイドビーイング。  
かつて、馬に乗り、剣で戦いあう時代に作り出された、最後の時を彩るための花飾り、もしくは手向けの花。という役割を与えられた生き物。  
と、いっても、当時は人の形を取ってはならず、枯れない鮮やかな一輪の薔薇だった。水と日光に当てると一生咲き誇るすごい奴。  
未婚の死を迎える(かもしれない)者たちと戦場を共にし、携帯者が死する時、共に散って死後の世界を共にする、死の間際を彩り飾るためのもの。  
もしも、携帯者が死ねずに異形となりうる時は、携えた刺で“高貴なまま殺す”ためのものでもある。

だったのだが、ファントムローズを持っていた者は死の間際、  
薔薇を散らさず見てただけだったので(もしくは殺せなかった)見事に置いていかれた。悲しい。  
添い薔薇と呼ばれている。

ちなみに、婚姻の申し出をするときはこの薔薇を相手に渡すのが習わし。  
渡された薔薇は加工されて装飾品になり、結婚した者が戦死した場合、妻が花束を墓前に捧げる儀式に変わる。